

地域密着型サービス評価の自己評価票

(部分は外部評価との共通評価項目です)

取り組んでいきたい項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	<p>○地域密着型サービスとしての理念</p> <p>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている</p>	3つの理念を基に住み慣れた地域の中で安心して日常を過ごせるように心がけている。	今後も、住み慣れた地域の中でその人らしく暮らせるように取り組んでいきたい。
2	<p>○理念の共有と日々の取り組み</p> <p>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる</p>	朝のミーティング時に、1日、理念を基に取り組めるよう提唱してから仕事に取り掛かっている。毎月の職員会議にも職員全員で唱和している。	今後も、理念が活かされるよう職員全員が配慮し、取り組んでいきたい。
3	<p>○家族や地域への理念の浸透</p> <p>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる</p>	事業所内に何箇所か理念を掲げ、訪問や面会に来られた際に見えるようにしている。運営推進会議で、理念についての事業所の思いと説明を行っている。	○ 今後は、地域の方がもっと理念を理解してもらえよう働きかけたい。
2. 地域との支えあい			
4	<p>○隣近所とのつきあい</p> <p>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえよう日常的なつきあいができるように努めている</p>	散歩等で近所の方とお会いすると、気軽に挨拶したり、話したりして付き合いを深めている。外では、お会いすると挨拶したり会話しているが、立ち寄ってもらえようような付き合いまではまだなっていない。	○ 行事等に近所の方にも来てもらえるように取り組んでいきたい。
5	<p>○地域とのつきあい</p> <p>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている</p>	努めている。地区の地域活動(掃除等)には、職員が積極的に参加し、行事等には利用者も参加している。	○ 利用者の参加を祭りばかりでなく、地域が行っている老人会等の参加ができるように検討していきたい。

グループホームはなみずき

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	<p>○事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる</p>	<p>地域貢献まではまだ取り組めていない。キャラバンメイトとして講師を務めたことはある。</p>	○	<p>地域の方の理解を深めてもらえるよう、働きかけ、地域貢献に取り組めるようにしたい。</p>
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	<p>○評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>自己評価・外部評価を職員会議で報告し、話し合いしている。また、いつでも閲覧できるように職員玄関入り口(エレベーター近く)に自己評価・外部評価の掲示を行った。話し合いは行ったが、改善に向けての取り組みが足りなかったように思う。</p>	○	<p>改善に向けて取り組めるよう、話し合いを重ねていきたい。</p>
8	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>年に6回、運営推進会議を行い、話し合い、サービスの向上に努めている。</p>		<p>今後も、運営推進会議の参加者の方に協力してもらいながら取り組んでいきたい。</p>
9	<p>○市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>市職員も運営推進会議に参加してもらい、相談にのってもらっている。また、地域ケア会議が開催されており、参加させてもらってサービスの向上に取り組んでいる。</p>		<p>今後も、連携を図り取り組んでいきたい。</p>
10	<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	<p>研修に参加させてもらっている。また、利用されている方が一人おり、支援している。</p>		<p>今後も、研修に積極的に参加し、必要な人にすぐに活用できるよう支援していく。</p>
11	<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>虐待に対して注意を払い、防止に努めている。また、研修に参加し、内部の勉強会も行い、学ぶ機会を設けている。</p>		<p>今後も、研修等に積極的に参加し、防止の継続に努めたい。</p>

グループホームはなみずき

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	十分な説明を行い、その際わからないことや疑問点等を聞き、理解してもらっている。	今後も、話し合いを重ね、信頼関係が深まるように努めたい。
13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ホーム玄関に意見箱を設置している。また、日常会話の中で不満がないか聞き出したり、意見を言ってもらえる機会も作っている。	今後も、利用者が気兼ねなくいつでも意見を言えるようにコミュニケーションを図り、信頼関係を築きたい。
14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	面会に来られた際は、必ず報告するよう努めている。金銭管理に関しては、購入前に家族に連絡している。また、はなみずきだよりで状況や職員の紹介を報告している。	年4回、はなみずきだよりを発行している。今後も継続していききたい。
15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ホーム玄関に意見箱を設置している。家族の来訪時には、面談する機会を持ち意見等を聞いている。苦情受け付けは、第三者委員も設置して体制はとっている。	○ 意見箱を設置しているが、家族の方が遠慮しているのか活用されていないので、積極的に対応していきたい。
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	職員会議やミーティングの時に話し合いの場を設け、意見や提案を聞いている。	今後も取り組んでいきたい。
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	勤務の調整に努めている。必要な時間帯には、職員確保に努めている。	今後も継続していきたい。
18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	異動は必要最小限に抑え、代わる場合は、利用者の方が不安がらないよう気配り・観察に努めている。	今後も継続していきたい。

グループホームはなみずき

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援			
19	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>内部研修として、新毎年度始めに研修計画を立て、職員が参加できるようにしている。新任研修、中堅者研修、上級者研修、認知症実践研修、介護技術研修に積極的に参加してもらっている。法人内研修として、新人研修、伝達研修、勉強会実施している。</p>	<p>○</p> <p>今後も継続していきたい。特に、新人研修に力を入れ、認知症グループホームへの理解を深め、良い介護ができるように支援していきたい。</p>
20	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>県のグループホーム連絡協議会に参加しており、お互いの情報交換や勉強会の場としている。また、同じ市内のグループホームとの情報交換をしており、勉強会にも参加したりして交流している。</p>	<p>○</p> <p>グループホーム同士での交流を図り、お互いに職員が他のグループホームで研修できるようにしていきたい。</p>
21	<p>○職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	<p>している。休憩室の設置により、職員が職場から開放されている時間を設けている。年3回ほどの飲み会を設けて、職員同士がリラックスできる関係作りをしている。</p>	<p>○</p> <p>今後も継続していきたい。</p>
22	<p>○向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p>	<p>努めている。各人に役割をもってもらえるように、勉強会や行事担当者や委員会を設置している。</p>	<p>○</p> <p>今後も継続していきたい。</p>
Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>利用者の方が、不安がらないよう家族の方に聞いたり、本人に確認したりしている。</p>	<p>○</p> <p>一定の職員だけじゃなく、関わる介護員も交えての話し合いの場を作りたい。</p>
24	<p>○初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>契約時の際に、家族の方と話し、不安なことがないか等聞く機会を設けて受け止める努力をしている。</p>	<p>○</p> <p>一定の職員だけじゃなく、関わる介護員も交えての話し合いの場を作りたい。</p>

グループホームはなみずき

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	している。		今後も取り組んでいきたい。
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	同じ施設内(1階)のデイサービスを利用してもらい、雰囲気馴染めるように努めている。		今後も継続していきたい。
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	利用者の方が、出来る事やしたい事を利用者本人に、職員が徹底してきちんと聞いて出来ていなかった。	○	利用者の方と会話を通じて何が出来るのか、何がしたいのかをきちんと把握して、その人に合ったサービスを心がけたい。
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	家族の方になるべく事業所に来てもらえるよう努めている。		今後もより一層取り組んでいきたい。
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	家族会を発足し、年4回開催し、よりよい関係が保てるようにしている。家族の方の受け入れや理解も少しずつ行っている。		今後も取り組んでいきたい。
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	利用者の方が、住み慣れた地域の行事等に参加してもらったりしているが、全員の利用者は行えておらず、一部の利用者である。	○	家族の方と話し合いの場を設けたが、利用者全員の実践までは至っていない為、今後家族の方の協力関係を築き、取り組んでいきたい。
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	昼食の盛り付けや洗濯たたみ等、利用者の方同士が協力しながら行ってもらっているが、声掛けできなかった方もいる。また、認知症の為、利用者の方同士が理解できないこともあり、トラブルになることもある。	○	レク等を通じて、利用者の方同士が楽しく話をできる雰囲気をつくるように心掛けたい。トラブルの原因を職員全員が理解し、対処できるよう取り組みたい。

グループホームはなみずき

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	看取りの後のケアはできていない。サービス利用が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者の方や家族の方が現在のところいない。	○	看取りの後の家族に対する配慮の取り組みを行っていききたい。
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	一人一人の思いや暮らし方の希望、意向等、グループホームの話し合い等で話し合ったり、利用者の方に意見や要望などを聞き、改善できる事は改善している。	○	今後も、日々職員が一人一人に意見や要望等を聞いて、できる事は改善していききたい。
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	アセスメントを作成し、利用者の方の生活歴や馴染みの暮らし方の把握に努めている。	○	今後も取り組み、センター方式の利用も行っていきたい。
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	一人一人に役割を決めて、心身状態等考慮してできる事をしていただいている。	○	今後もより一層取り組んでいきたい。
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	年に何回か家族会等、利用者の家族の方と行事等を開き、触れ合いの場を設けている。センター方式を利用しながら、利用者・家族・職員の意見も取り入れながらカンファレンスをし、介護計画を作成している。	○	今後も継続していききたい。
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	利用者の方の状態に応じた介護計画を作成し、見直しも期間に応じて行っている。また、必要な関係者と話し合い、現状に合った計画を作成している。文章化は努力はしているが、まだ不十分である。	○	今後も記録に残し、職員全員が把握できるよう取り組んでいききたい。

グループホームはなみずき

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別記録はきちんと記入するよう努めているが、統一して実践されていないこともある。	○	話し合いの場を十分設け、職員全員が理解し、把握できるよう取り組んでいきたい。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	同じ施設内(1階)のデイサービスを自由に行き来したり、家族の方の都合に合わせて通院や外出したり、その時の状況に応じた支援をしている。		今後も取り組んでいきたい。
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	運営推進会議に参加してもらったり、防火訓練等に参加していただいたりと協力してもらっている。	○	今後も、関係機関等に協力してもらいながら取り組んでいきたい。
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	どのように取り組んでいいのかわからない	○	
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	権利擁護については、社会福祉協議会の担当者と協働し、サポートしてもらっている。地域包括支援センターとの協働は、運営推進会議やケア会議等で意見交換を行っている。		今後も継続していきたい。
43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	かかりつけ医との連携、きちんとできている。定期的に往診に来てもらったり、また、状態変化時には連絡し、報告、相談し、適切な指示をもらっている。看取りも、かかりつけ医の医師が積極的に関わってくれている。		今後も継続していきたい。

グループホームはなみずき

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44	<p>○認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>	<p>家族の方も交えて話し合いしたり、受診してもらったりしている。</p>	<p>今後も継続していきたい。</p>
45	<p>○看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>	<p>看護職員と協力しながら、利用者の方の健康管理等に努めている。</p>	<p>今後も継続していきたい。</p>
46	<p>○早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>	<p>家族の方も交えて連携している。</p>	<p>今後も、協力を得ながら継続していきたい。</p>
47	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>家族の方やかかりつけ医と今後についてカンファレンスをしたり、協力してもらいながら取り組んでいる。</p>	<p>○話し合いのタイミングがうまくつかめていないので、いつから終末期に入るのか、かかりつけ医と連携を深めながら、より一層取り組んでいきたい。</p>
48	<p>○重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>	<p>かかりつけ医の協力もあり、変化に備えて検討や準備に努めている。</p>	<p>話し合いの場を増やし、職員全員が把握し取り組めるようにしたい。</p>
49	<p>○住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>	<p>経過報告書を記入し、関係者間での情報交換を行っている。</p>	<p>今後も取り組んでいきたい。</p>

グループホームはなみずき

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	利用者の方の言葉掛けは、堅苦しくならないようにしている。対応も無理にならないように心掛けている。	今後も取り組んでいきたい。
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	できる事は、利用者の方本人にさせていただいている。説明も、言葉と動きで説明するようにしている。	○ 利用者の方に無理強いせず、意志を尊重し取り組んでいきたい。
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	職員の都合で、「これしましょう。あれしましょう」と言っていることがある。「何しましょう」と声掛けするも、「わからない」と言われたり、「何もしたくない」と言われる。利用者の方と話し合い、希望に添えるよう配慮はしている。	○ 一人一人のペースを大切に、取り組んでいきたい。
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	心掛けている。理容・美容室は、近所の理容室・美容室に行っている。家族の方が連れて行ってくれる時もある。	今後も継続していきたい。
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	テーブルの消毒は、利用者の方がしてくれている。朝の食事の盛り付けは職員が行っているが、昼食・夕食の食事の盛り付けは利用者の方と一緒にしている。食器の片付けは、出来る人は片付けてもらっている。食器洗いは、職員がしているが、利用者の方が早く引き受けられる時があれば食器洗いしてもらっている。	○ 今後も、利用者の方の気持ちを大事にし、楽しく過ごせるように取り組んでいきたい。
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのもを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	飲み物やおやつは、職員が決めている。たまに、声掛けて飲み物を何にするか聞いている。	○ 利用者の方の嗜好を大事にし、利用者の方に聞きながら取り組みたい。

グループホームはなみずき

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	○気持よい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	失敗がなるべく少なくする為に、一人一人の排泄のレベルに合わせて支援している。		今後も、個人のプライバシーに気をつけながら継続していきたい。
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	今までは、入浴する日が決まっていたので、入れない人が次の日に入ることが難しかった。今では、毎日入浴ができるようになった。	○	利用者の方が好きな日等、意向を取り入れていきたい。
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	眠れない時等、話を聞いたり、その人の人生の話等聞いている。また、眠れるまでホールでテレビを見たり、本を読んだり、飲み物を飲んだりしている。		今後も継続していきたい。
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	犬と触れ合ったり、散歩に行ったりして気晴らしの支援をしている。	○	利用者の方、一人一人に役割を決め、利用者の方の楽しみごとができる場を支援していきたい。
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	利用者の方のお小遣いは、総務に預けており、使う時に自由に使えるよう支援している。		今後も継続していきたい。
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	なるべく、散歩や外気浴に出掛けている。利用者の方の健康のことも考えて運動の為に掛けている。		今後も、安全に気をつけながら取り組んでいきたい。
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	本人が出掛けたいと希望する場合、行ける所は家族の方や職員と一緒に外出している。全員の利用者の方が行えていないので、家族の理解を得る必要がある。	○	一部の利用者ではなく、全員の利用者の方が思い思いに行えるように、家族の方の理解や協力を得られるよう働きかけたい。

グループホームはなみずき

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話や手紙のやり取りはしていない。家族の方から電話があった場合、利用者の方と代わり話していることもある。		手紙のやり取りができるよう働きかけたい。
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	面会者が来られた時は挨拶をしている。居室の方で会話している事が多い。家族の方や面会者が来られた時に、畳を用意したり、椅子を準備している。お帰りの時は「ありがとうございました」とお礼を言っている。また来てもらえるように声掛けもしている。		今後も継続していきたい。
(4)安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束はしていない。以前、エレベーターのボタンの所にカバーをかけていたことがあったが、職員が手薄の時にやっていたが、現在はしていない。		今後も継続していきたい。
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	階段は危険防止の為に施錠している。エレベーターは、自由に1階と2階を行き来できるようにしている。		今後も継続していきたい。
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	利用者の方が、行動すると声掛けしている。歩行不安定な利用者の方には、声掛け、見守りを行い、転倒防止に努めている。	○	今後も安全管理には気をつけたい。
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	本人の意思を尊重し、注意の必要な物品に関して職員も注意を払い、管理してもらっている。		今後も注意しながら、本人の意思を尊重して取り組みたい。
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	勉強会の開催や、ヒヤリハットの事例検討会や防火訓練(4回/年)を実施して、事故防止に取り組んでいる。		今後も継続していきたい。

グループホームはなみずき

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	勉強会を設けて行っている。実際になると慌ててしまい、何を優先にしたらよいか戸惑うこともあるので、何度も勉強することが必要である。	○	レベルアップできるよう勉強会を行い、また、自主的に研修に参加できるよう働きかけたい。
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	マニュアルを作成し、取り組んでいる。年に4回訓練を行い、近所の方の協力も得て行っている。		今後も、地域の方に協力を得ながら働きかけたい。
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	家族の方に説明し、理解してもらっている。		今後もより一層取り組んでいきたい。
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	毎朝、バイタルチェックし、変化がないか早期に発見できるように努めている。		今後も継続し、早期発見につなげたい。
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬管理しており、服薬介助も行っている。職員全員が薬の目的や副作用などのついては全部は把握していない。	○	勉強会やミーティング時に、話し合いの場を設けて理解し、職員全員が対応できるようにする。
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	毎朝、牛乳かヨーグルトを提供している。また、毎日の日課として散歩を取り入れ、体操も行い、身体を動かす働きかけに取り組んでいる。		今後も、一人一人把握し、継続していきたい。
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後、必ず口腔ケアするよう努めている。		今後も継続していきたい。

グループホームはなみずき

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量や水分は記録している。一人一人の状態に応じた支援をしている。		今後も継続していきたい。
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	マニュアルを作成し、それに基づいて取り組んでいる。インフルエンザに関しては、利用者の方や職員全員が予防注射を受けるようにしている。		今後も継続していきたい。
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	衛生管理に努め、食中毒の予防に気をつけている。		今後も継続していきたい。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関は段差をなくし、スロープになっており、安心して出入りできるようになっている。		
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるよう工夫している。		
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ソファでくつろいでもらったり、気の合った利用者同士では、会話したりして思い思いに過ごしてもらえるよう努めている。また、気の合った利用者同士では、席を隣同士にしたり工夫している。		

グループホームはなみずき

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	本人の使い慣れた物を持ってきてもらい、居心地よく過ごせてもらえるよう努めている。		
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のおよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	換気には十分気をつけ、空気のおよみがないよう努めている。	○	今後も気をつけ、取り組んでいきたい。
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	建物内部には手すりを設置しており、つかまって歩行できるようになっている。散歩や体操も取り入れ、身体機能を活かせるようにしている。		
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	一人一人のわかる力で、理解しながら環境づくりに努めようとしている。混乱や失敗を防ごうと努力はしている。	○	一人一人わかる力を活かし、慌てさせるようなことをせず取り組んでいきたい。
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	外には犬を飼っており、いつでも触れ合いができるようにしている。畑もあり、野菜や花などの手入れもしてもらっている。		

V. サービスの成果に関する項目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
項 目			
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○	①ほぼ全ての利用者の
			②利用者の2/3くらいの
			③利用者の1/3くらいの
			④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある
			②数日に1回程度ある
			③たまにある
			④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と
			②家族の2/3くらいと
			③家族の1/3くらいと
			④ほとんどできていない

グループホームはなみずき

項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている		①ほぼ毎日のように
			②数日に1回程度
		○	③たまに
			④ほとんどない
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている
			②少しずつ増えている
			③あまり増えていない
			④全くいない
98	職員は、生き生きと働いている	○	①ほぼ全ての職員が
			②職員の2/3くらいが
			③職員の1/3くらいが
			④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う		①ほぼ全ての家族等が
			②家族等の2/3くらいが
			③家族等の1/3くらいが
			④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

・毎日の日課として、散歩や外気浴を取り入れています。また、ターミナルケアの体制として、医療連携がととてもよく、24時間連絡体制がとれています。